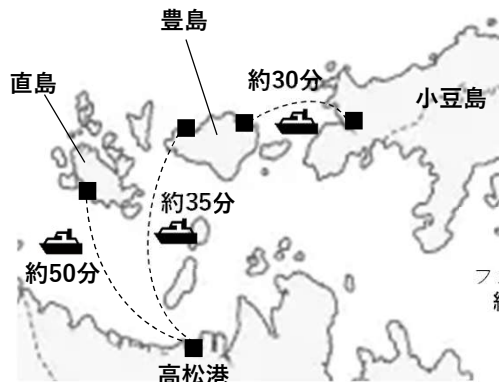


直島

瀬戸内海に浮かぶ直島は、「現代アートの聖地」として世界中から注目を集める島。美しい自然と現代アート、建築が融合した独自の景観が魅力。直近の「瀬戸内国際芸術祭2025」の会期中には、直島会場に過去最多を更新する約33.8万人が訪れました。

ベネッセハウスでは、
「美術館に泊まる」
非日常体験を味わえる！



ベネッセハウス周辺



「自然・建築・アートの共生」をコンセプトに、美術館とホテルが一体となった施設として1992年に開館。作品は展示スペースにとどまらず、館内のいたるところに設置され、施設をとりまく海岸線や林の中にも点在しています。

▲「ベネッセハウス ミュージアム」

建築：安藤忠雄

🕒 8:00~21:00 (年中無休)

🎫 オンライン購入 1,300円/窓口購入 1,500円



▲「地中美術館」 建築：安藤忠雄

Photo:FUJITSUKA Mitsumasa

瀬戸内の美しい景観を損なわないよう、建物の大半を地下に埋設した建物が特徴。作品空間は地下にありながら自然光が降り注ぎ、一日の時間を通して、また一年の四季を通して、表情が刻々と変わります。

🕒 10:00~17:00 (休館日：毎週月曜日)

🎫 平日：オンライン購入 2,500円/窓口購入 2,800円

土日祝：オンライン購入 2,700円/窓口購入 3,000円

観光バスで
約10分



▼「直島パヴィリオン」藤本壮介

直島パヴィリオン 所有者：直島町
設計：藤本壮介建築設計事務所 写真/福田 ジン



▼「赤かぼちゃ」草間彌生

草間彌生「赤かぼちゃ」2006年直島・宮浦港緑地
写真/青地 大輔 ©YAYOI KUSAMA 無断転載不可



館内の作品はゆるやかに
展示替えが実施されます！
訪れる度に違う作品が楽しめます♪



▲「直島新美術館」 建築：安藤忠雄

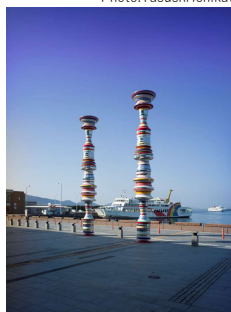
Photo:GION

🕒 10:00~16:30 (休館日：毎週月曜日)

🎫 オンライン購入 1,500円/窓口購入 1,700円

高松港

Photo:Yasushi Ichikawa



▲「Liminal Air-core」大巻伸嗣

定期船で
約35分



豊島

豊かな自然と現代アートが調和する豊島。棚田や海を望む風景も美しく、アートと穏やかな島時間を楽しめる場所として人気です。

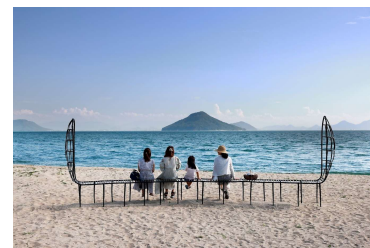


Photo:Keizo Kioku

▲「海を夢見る人々の場所」
ヘザー・B・スワン+ノンダ・カサリディス

Photo: Ken'ichi Suzuki



▲「豊島美術館」アート：内藤礼 建築：西沢立衛

瀬戸内海を望む小高い丘の中腹に位置する、自然と建築、アートが融和した美術館。天井の2つの開口部からは光や風、鳥の声が注ぎ、時間の流れや季節の移り変わりとともに無限の表情を伝えます。

🕒 10:00~17:00 (休館日：毎週火曜日) ※季節により異なる

🎫 オンライン購入 1,800円/窓口購入 2,000円



Photo:Kuge Yasuhide

世界中の人々の心臓音を恒久的に保存し、聴くことができる小さな美術館。自分の心臓音を採録することもできます。

▲「心臓音のアーカイブ」クリスチャン・ボルタンスキー

🕒 10:00~16:00 (休館日：毎週火曜日) ※季節により異なる

🎫 オンライン購入 600円/窓口購入 700円

開館日等の詳細はこちらを確認

(ベネッセアートサイト直島) →

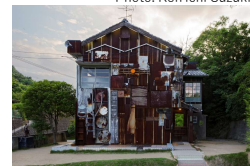


本村エリア

観光バスで
約5分

「家プロジェクト」
古い家屋などを改修し、アーティストが空間そのものを作品化するアートプロジェクト。現在7軒が公開中。

Photo: Ken'ichi Suzuki

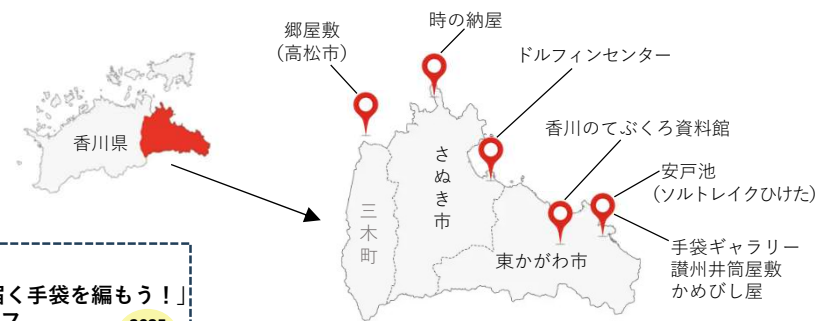


▲家プロジェクト「はいしゃ」大竹伸朗 "舌上夢/ボッコク眼"

🎫 共通チケット(「南寺」「きんざ」以外)
オンライン1,200円

引田エリア(東かがわ市)

香川県東部に位置する引田は、江戸時代には、讃岐三白に数えられる砂糖や塩の積み出し港として発展。江戸時代の情緒が残る古い町並みや、世界で初めてハマチ養殖に成功した町として知られ、ノスタルジックな風景と豊かな海の幸が魅力です。また、国内生産90%以上のシェアを誇る日本一の手袋産地であり、高級砂糖「和三盆糖」の生産地でもあります。



AGT
限定

東かがわ手袋ギャラリー

Photo : Shintaro Miyawaki



◀「みんなの手 月まで届く手袋を編もう！」
レオニート・チシコフ
▼「てぶくろくんのおはなし」
マリーナ・モスクヴィナ

2025
NEW

2025
NEW

- 一般公開：毎週日曜日
(10:00~16:00)
- 作品観賞料：1,000円
- 駐車場：東かがわ市つばさ
交流センター

Photo : Shintaro Miyawaki



併設のグローブショップ
では、香川の手袋職人が
丁寧に作り上げた様々な
手袋を展示販売。
オーダーメイド手袋も作
れます！

Photo : Shintaro Miyawaki



徒歩約1分

引田のレトロな町並みを散策
(※ガイド案内、可能です！)

▼讃州井筒屋敷



江戸時代から続いていた酒・醤油づくりの商家を改装した、引田のまち並み散策の拠点施設。
・和三盆型抜き体験
・手袋作り体験
・母屋の見学
・特産品の販売や飲食



◀かめびし屋

- ・築200年を超える
もろみ蔵の見学
- ・My醤油づくり
- ・醤油のきき味体験



◀香川のでぶくろ資料館

- ・手袋産業の歴史を紹介
- ・有名スポーツ選手
の手袋や特殊手袋
などの展示
- ・手袋やスポーツグ
ロープ、革製品なども販売



◀安戸池 (ソルトレイクひけた)

- ・安戸池で育てたブランド牡蠣
「ADOMILK」の養殖場見学・試食
- ・ハマチの餌やり体験
- ・鯛釣り



さぬき市

さぬき市は、白砂青松の景勝地として名高い「津田の松原」、風光明媚な瀬戸内海を堪能できる大串半島、四国遍路結願の霊場である「第88番札所大窪寺」など、自然、歴史、文化の魅力があふれるエリアです。江戸時代に活躍した奇才 平賀源内の生誕地でもあり、平賀源内記念館ではその業績をたどることができます。

／ 瀬戸内海を一望できる ／

時の納屋 ▶

大串自然公園内にある絶景と県産グルメが楽しめるカフェ。「ガンツウ」を設計した堀部安嗣氏が手掛けた自然と調和した建物も高く評価されており必見！

※貸切対応
可能
(要相談)



◀日本ドルフィンセンター

- ・エサやり体験
- ・トレーナー体験
- ・ふれあい体験
- ・ドルフィンスイム



LUNCH
にオススメ！

郷屋敷

国指定有形文化財に登録された、江戸時代の屋敷を改装した食事処。美しい庭園を眺めながら、讃岐うどんの会席料理などが楽しめます。

● 団体予約：70名まで



本島(丸亀市)

香川県丸亀市の塩飽諸島に属する、歴史と自然が豊かな島。瀬戸大橋の西側に位置し、かつて「塩飽水軍」の本拠地として栄えました。国の重要伝統的建造物群保存地区や塩飽勤番所跡などがあり、サイクリングも楽しめます。(※自転車貸出：1日500円～)

本島港



Photo:Kimito Takahashi

▲「Vertrek「出航」」石井章

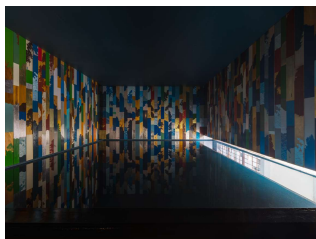


Photo:Yasushi Ichikawa

▲「咸臨の家」眞壁陸二

●一般公開：毎月第2土日
(9:30~16:15)

¥500円

AGT
限定

丸亀港から定期船で
約35分



自転車で約10分

笠島エリア

Photo:Shintaro Miyawaki



▲「House of Shadows (影の家)」 エカテリーナ・ムロムツェワ

2025
NEW

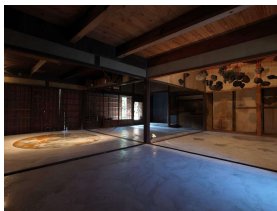


Photo: Yasushi Ichikawa

▲「Moony Tunes」 ツェ・スーメイ

笠島地区瀬戸芸作品すべて

AGT
限定

●一般公開：毎月第2土日
(9:30~16:15)

¥500円



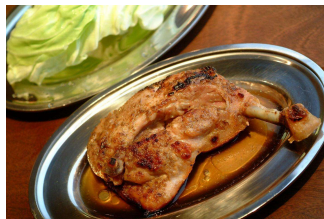
香川県唯一の国の重要伝統的建造物群保存地区。塩飽水軍や塩飽廻船の本拠地として発展し、塩飽諸島の中で最も栄えたエリアのひとつです。

▼「レボリューション/ワールドライズ」 アリシア・クヴァーデ

Photo: Keizo Kioku



LUNCH にオススメ! 骨付鳥 一鶴



香ばしく焼き上げたスパイシーな骨付鳥と『とりめし』もおすすめ!

- ・団体予約可
(3か月前までに要予約、長期休みは不可)
- ・バス駐車可(土器川店、中府店)



栗島(三豊市)

栗島は、美しい海と豊かな自然に囲まれた癒やしの島。レトロでフォトジェニックな日本最古の海員養成学校(栗島海洋記念館)や島のアートに魅せられて、ゆっくり島を散策するのもオススメです。

栗島

Photo:Yasushi Ichikawa



▲「思想の輪郭」エステル・ストッカー

●一般公開：毎月第2土曜日
(11:30~16:00)

¥500円

AGT
限定

中庭へのトンネルを白く塗り、うねりのある黒線で空間を構成。楽しむ子供たちの姿はかつての旧栗島幼稚園のにぎわいを想起させます。

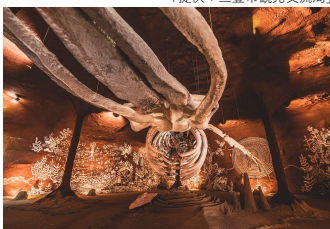
栗島芸術家村

若手アーティストたちが毎年約3ヵ月間、島に滞在して、住民と交流しながら作品を制作しています。

●一般公開：
毎週土曜日(13:00~16:00)
※季節により異なる

無料

「提供：三豊市観光交流局」



▲「言葉としての洞窟壁画と、
鯨が酸素に生まれ変わる物語」
大島真木、マユール・ワイエダ

須田港から定期船で
約15分

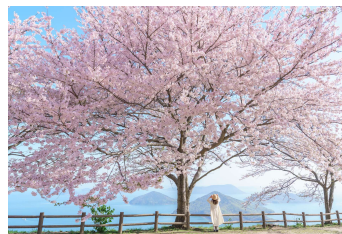
三豊市絶景エリア

▼父母ヶ浜



紫雲出山▶

米国ニューヨークタイムズ(2019年に行くべき52カ所)に掲載されました。瀬戸内海の多島美を背景に約1,000本の桜が咲き誇ります。



「提供：三豊市観光交流局」

- ・父母ヶ浜絶景フォト撮影プラン(1日1組限定)
- 16:00~20:00のうち1時間
※干潮と日の入り時刻が重なる時に撮影するため、季節により異なる
- 1~10名：33,000円(20カット)～
(※土日祝、繁忙期11,000円増し)



丸亀市街地エリア

丸亀市は、京極家ゆかりの丸亀城や中津万象園をはじめ、歴史と文化が息づく城下町です。日本一の高さを誇る丸亀城の石垣、全国シェアの約9割を誇る丸亀うちわ、香川県名物の骨付鳥など、歴史・伝統・食の多彩な魅力が楽しめます。



▲丸亀城

・城内ボランティアガイド
(ガイド1名2,000円)



▲丸亀城城泊

¥275,000円～(1泊/2名利用時)

※城泊限定の文化体験が
オプションで自由に選択可能!
・丸亀うちわ作り
・太鼓打ち鳴らし体験 など

▼中津万象園

丸亀藩京極家築庭の大名庭園。園内には、現存最古の煎茶室などがあり、お食事処も併設されています。



小豆島

瀬戸内海で2番目に大きい島である小豆島は、高松港からフェリーで約1時間、高速艇で約35分とアクセス良好。温暖な気候に育まれた「オリーブの島」として知られ、エンジェルロードや映画『二十四の瞳』の舞台、名産の醤油や手延べそうめんなど、見どころと美食が詰まった魅力あふれる観光エリアです。

土庄港



◀「太陽の贈り物」
チェ・ジョンファ
(崔正化)

Photo:Yasushi Ichikawa

▼エンジェルロード



車で
約20分

▼道の駅 小豆島オリーブ公園



小豆島産のオリーブオイルやお菓子、加工品をはじめ、島ならではの土産を購入できます。

車で
約15分

三都半島

▼「ダイダラウルトラボウ」 伊東敏光+広島市立大学芸術学部有志



Photo: Keizo Kioku



福田エリア



Photo: Shintaro Miyawaki



Photo: Shintaro Miyawaki

▲瀬戸内アジアギャラリー
「特別企画展2026」
アジア各地のアーティストや文化関係者との連携に加え、地域の交流の拠点として2025年の瀬戸内国際芸術祭より「瀬戸内アジアギャラリー」として活動を展開。「特別企画展2026」にはマレーシア、タイなどアジア各地から6組の作家が出演。

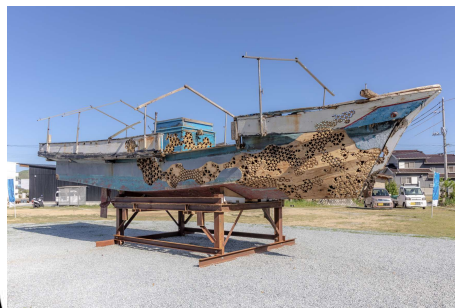
AGT
限定

2025
NEW

🕒 一般公開：月・火・土・日曜日（9:00~17:00）👉 500円

草壁港

Photo: Shintaro Miyawaki



▲「Inner Light -Floating Houseboat of Setouchi-」木戸龍介

2025
NEW

LUNCH
にオススメ！
Cultiva (カルチバ)

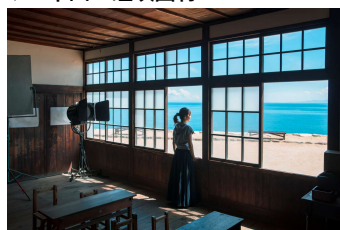


小豆島近海で獲れた地魚や醤油・塩などの調味料に至るまで、小豆島産の食材にこだわった食事を提供。

👥 42名まで ※貸切予約も可能

車で約15分

▼二十四の瞳映画村



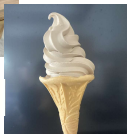
映画「二十四の瞳」のロケセットが再現され、昭和初期のノスタルジックな雰囲気が楽しめます。

▼マルキン醤油記念館

・醤油蔵見学 ・もろみしぼり体験



しょうゆ
ソフト▶



寒霞溪

日本三大渓谷美のひとつにも数えられる寒霞溪は、瀬戸内海国立公園を代表する景勝地の一つ。寒霞溪の麓から山頂を結ぶロープウェイは、日本で唯一、空と海と渓谷を一度に眺望できます。秋の紅葉はもちろん、初夏の新緑もおおすすめです。



日本三大
渓谷美
のひとつ！

「空の玉/寒霞溪」▶ 青木野枝

直径約4mの鉄の中から、自然と一体になった特別な寒霞溪の景色を楽しめます。鉄は、時間の経過により錆色に変わり、周囲に溶け込んでいます。



Photo: Keizo Kioku

車で約30分

2025
NEW

「瀬戸内国際芸術祭2025」の新作
※既存作品で展示替えのあった新展開作品を含みます。

AGT
限定

旅行会社様限定で非公開日に観賞可能な作品
※香川県観光振興課までご相談ください。

TEL：087-832-3362